

R3年度 津南中等教育学校 職員研修

特別な支援を必要とする生徒への対応と卒業後の進路について

新潟県立川西高等特別支援学校

岩井 晶子

本日の流れ

1. 卒業後の進路(福祉との連携) について

15分

2. 合理的配慮について

3. 発達障害の分析と対応

15分

<演習1> ADHD ASD 問題が起こる前の支援について

20分

4. ユニバーサルデザインについて

<演習2> 「授業のUD化チェックリスト」をやってみましょう!

10分

おわりに

1 卒業後の進路（福祉との連携） について

(川西高等特別支援学校では…)

高等部を卒業したら

社会人

昨年度卒業生の状況

○企業就労（障害者雇用）

製造業、老齢福祉施設
スーパー、バックヤード
飲食店

○福祉事業所の利用

就労継続支援B型
生活訓練とB型の併用

土木



製造(食品)



製造 (機械)



老齡福祉



スーパーバックヤード



①企業就労（障害者雇用）

- 職場において必要な配慮が期待できる雇用形態
（障害者手帳の所持が必要）
- ハローワークに**求職登録**

ハローワーク十日町（十日町市、中魚沼郡）
ハローワーク南魚沼（魚沼市、南魚沼市、南魚沼郡）

- ・職業相談、職業紹介（定期的な就職面接会）
- ・障害者向けの求人の確保
- ・雇用率達成指導
- ・関係機関と連携

基本的に最低賃金が保障される

- 新潟県の最低賃金

890円

令和4年10月～ * 改訂前：859円(21円増)

(パート雇用の例)

$890\text{円} \times 6\text{時間} \times 20\text{日} = 106,800\text{円}$

障害者手帳について

- 福祉サービスを受ける際や、障害者雇用枠で仕事を探す際に必要（障害者雇用枠以外で就職活動をして問題はない）

<種類>

- 療育手帳
- 身体障害者手帳
- 精神障害者保健福祉手帳

障害者雇用と一般雇用

障害者雇用

(障害者の応募を前提としている)

<メリット>

- ・安心して応募できる
- ・十分な個別対応が可能
- ・仕事のミスマッチが少ない。
(実習を行うので安心できる。)

<デメリット>

- ・職種が限られてしまうこともある
- ・一般雇用よりも給料が少ないことも

一般雇用

(新卒採用・中途採用に応募
障害者が応募することを想定していない場合も)

<メリット>

- ・すべての職種から選べる
- ・待遇で制限を受けない
- ・自分の可能性にチャレンジできる

<デメリット>

- ・十分な対応をしてもらえない可能性
- ・不採用になる回数が多くなる

②福祉事業所の利用（その1）

○就労移行支援

約2年の期限付きで、一般企業への就労を目指します。

○就労継続支援A型（例 サンファーム、よつば）

最低賃金を保証されながら、福祉事業所で働きます。

○就労継続支援B型（例 サンファーム、よつば、すみれ工房 工房なかさと 等）

福祉事業所に通い、工賃をもらいながら働きます。

就勞繼續A型



就労継続B型



②福祉事業所の利用（その2）

○自律訓練（生活訓練）

約2年の期限付きで創作活動等を行いながら、社会生活や家庭生活に必要な訓練を行います。

○生活介護（例：工房なかさと）

食事、入浴、排泄等の介助を受けながら、創作活動や体験活動を行います。

○地域活動支援事業（例：いこいの家）

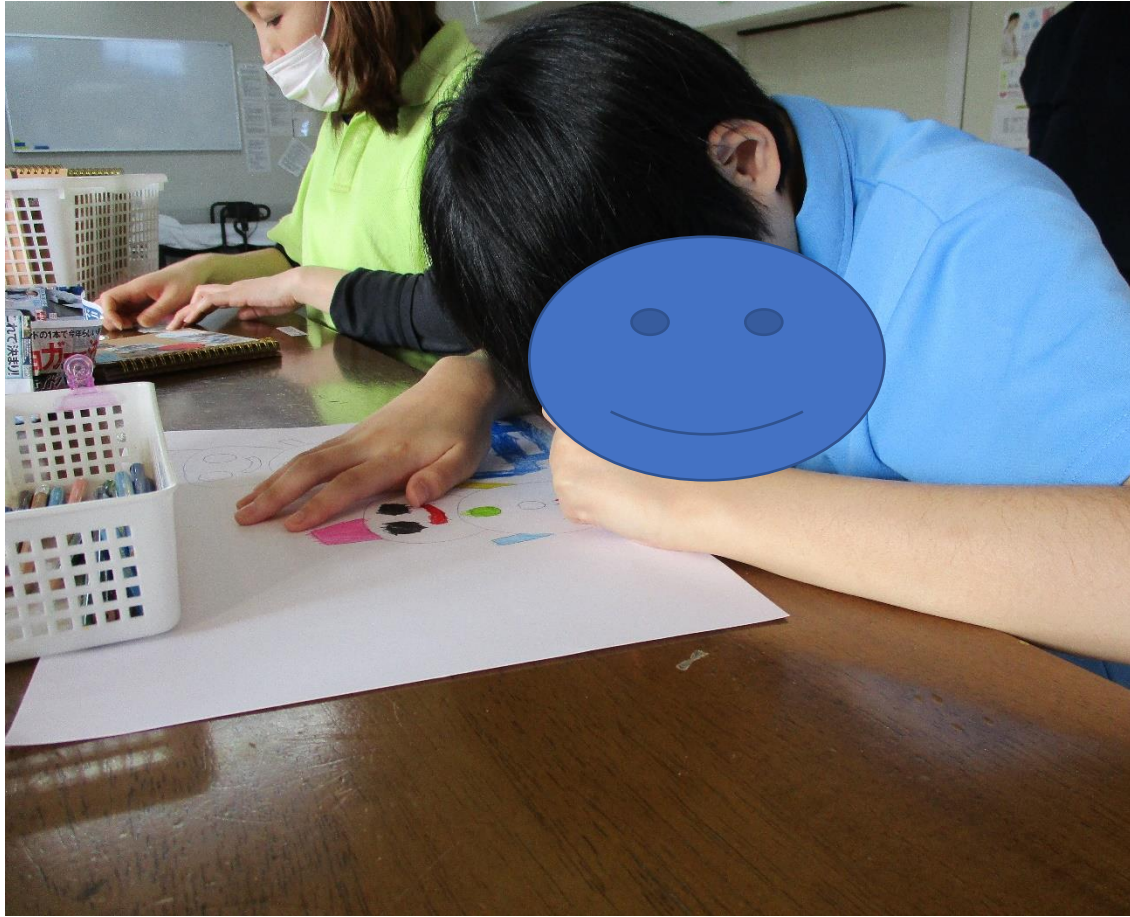
憩いの場や創作活動、作業活動等の要素を含めた活動を行います。

○日中一時支援 一時的に安全な居場所として提供されます。

生活訓練



生活介護



②福祉事業所の利用（その3）

（福祉事業所を利用するためには）

相談支援専門員（相談支援事業所に所属）が「サービス等利用計画」を作成することが必要

サービス提供開始後、定期的にモニタリングを行い内容の見直しを行っていく。

相談支援事業所

<十日町市>

- ・ 障がい者地域生活支援センターあおぞら（十日町地域）
- ・ 障がい者地域生活支援センターエンゼル妻有
（川治・松代地域）

<津南町>

- ・ 相談支援センターすみれ

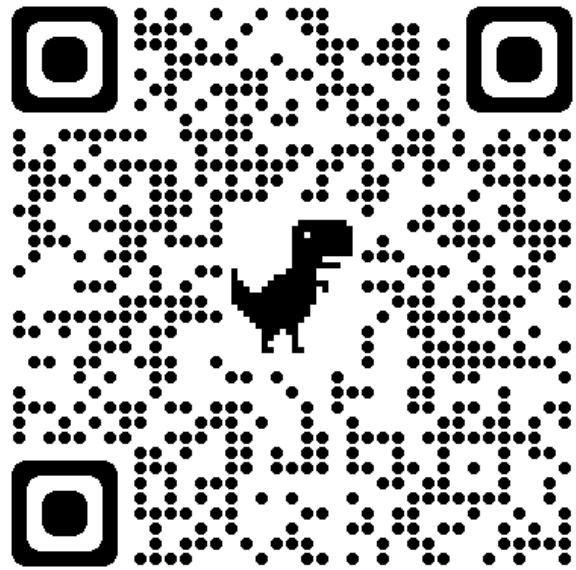
<南魚沼市>

- ・ 相談支援センターみなみうおぬま

相談支援事業所でできること

- 生活をしていく上で知りたいことや困ったこと等、日常生活における相談ができます。
- 福祉サービスの利用のための相談ができます。
(例：“グループホームで暮らしたい！”等)
- 日中活動の場を確保します。(例：“仲間とおしゃべりがしたい”)
- 仕事の斡旋や必要な訓練を行う場所の紹介

児→者へのつながり



発達支援センターおひさま

↓ 18歳

相談支援事業所

(行政にも相談できます！)

- ・十日町市市民福祉部福祉課 障がい福祉係
- ・津南町福祉保健課

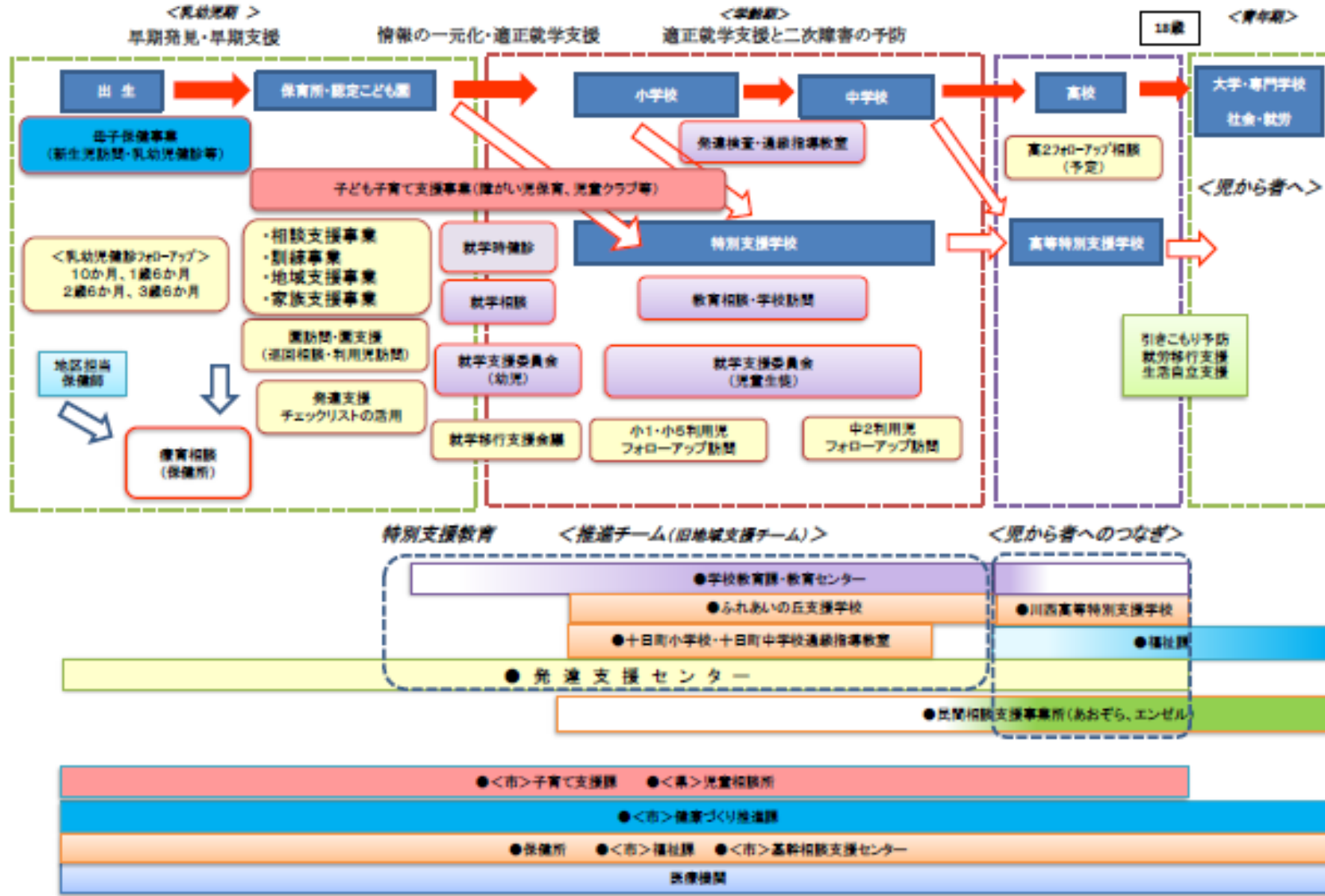
(参考)

十日町市の支援体制

(スライド17)

R3

十日町市が目指す発達障がい児の支援体制～途切れない支援体制の構築～



2 合理的配慮について

合理的配慮とは

- ・ **障がいのある人が障害のない人と同じ事をするときに、障がいのある人の求めに応じて、市や事業者・市民等の周りの人が、その人の人権を尊重して、その状況に応じた変更や調整（お金や労力の負担が過度にならないもの）などを行うこと**

＜新潟市条例参考資料より＞

↓
国・地方公共団体等（国公立学校など）は
合理的配慮の提供が法的義務

【発達障害への合理的配慮】

<ICTの積極的活用>

- ・ 読み障がい：読み上げソフト、
漢字にカナを振る
- ・ ADHD：環境構成の工夫、情報の制限
- ・ 書字障がい：キーボード入力、音声入力、
アプリの活用
(紙と鉛筆による書字からの開放)

テストの合理的配慮

<プレゼンテーションの仕方>

読み上げ、手話、点字、仮名ふり（対応業者あり）、拡大

<反応の仕方>

パソコン、口頭、特別な筆記具、手話

<セッティング>

別室（試験場所の配慮）、個別、付き添い

<時間延長>

大学入学試験では、すでに実施済み。

センター試験：診断書＋状況報告書（高校）

合理的配慮の例（新潟大学）

- 試験時間延長、別室受験（監督者付）
- 用紙の拡大印刷
- 持ち込み可の場合：ipad（大学提供）許可
- 試験時の問題文、解答用紙のデータ
（特製USB）
- 定期テスト→レポート

新潟大学ではこんな取り組みも…

<特別修学サポートルーム>

障がいがあり、大学生活の中で様々な困難を抱えている学生のサポートを行う。（特別支援教育士スーパーバイザーが相談を受ける）

（発達障がいの学生の相談例）

- ・ 友達や先生との人間関係づくり
- ・ 板書を写しながら話を聞くのが苦手
- ・ レポートの締め切りが間に合わない
- ・ 授業、レポート、試験、実習、アルバイト、サークル等の調整がうまくいかない

長岡技術科学大学の取り組み

●対象学生への連携支援の流れ



富山大学学生支援センターの取り組み



学生

中学生の時に、ディスクレシアと診断され、書くことも苦手です。高校までは板書を写真撮影してもらった合理的配慮を受けていました。大学ではどのような配慮をしてもらえますか？

読み書きの検査結果を参考に、どのような配慮が必要かを検討します。どの授業にも共通する配慮もあれば、授業の方法によって異なる配慮が必要な場合もあります。たとえば、印刷物を電子ファイル化し、読み上げソフトを利用する、あるいはスマートペン等の利用で録音を許可する等があります。授業担当教員とも話し合いながら、あなたに必要な配慮を考えていきましょう。



支援者



学生

学期末は課題が重なり仕上がりにません。高校までは、担当の先生が細かく指示をしてくれていました。

それでは、自分の手帳を使って自分のスケジュールを調整するところから始めてみましょう。来週までに、手帳を準備してきてください。



支援者

…後略

3. 発達障害の分析と対応

A D H D と A S D

A D H D とは

• **不注意**

- 不注意、注意の持続の困難
- 聞いていない、物事をやり遂げられない
- 順序立てられない、物をなくす、忘れる

• **多動**

- もじもじする、座ってられない、高いところに上がる
- 静かに活動できない、しゃべりすぎる

• **衝動**

- すぐ答える、順番を待てない
- 他人を妨害する、がまんできない、ゆっくり活動できない

ADHDの認知特性

- ・ **プランニングと注意維持の困難さ**

計画性の甘さ、課題遂行の困難さ（言い訳）

- ・ **自己の能力過大評価**

思い通りにならないことへの不満。周囲への悪影響

- ・ **ワーキングメモリーの弱さ**

聞いて理解する課題の困難さ、動機付けで改善？

- ・ **読み能力の問題あり**

学習障害のリスク

ADHDのウリは

- **創造性の高さ**

芸術活動、ユニークな意見、発想力の豊かさを評価する

- **人助けが好き、行動力がある**

人の役にたつことで自己肯定感を育てる

- **変化に敏感**

緊急時に思わぬ力を発揮することも

- **意外にも…**

おっとりしている、好きなことに抜群の集中、正義感が強い

ADHDに求められること

- **自己理解**

行動抑制の弱さと様々な困難、自分のウリ

- **自己管理**

行動抑制の仕方を学ぶ、実施する、振り返る

- **自己解決**

解決の仕方を教えてもらい、自分で考えて解決する

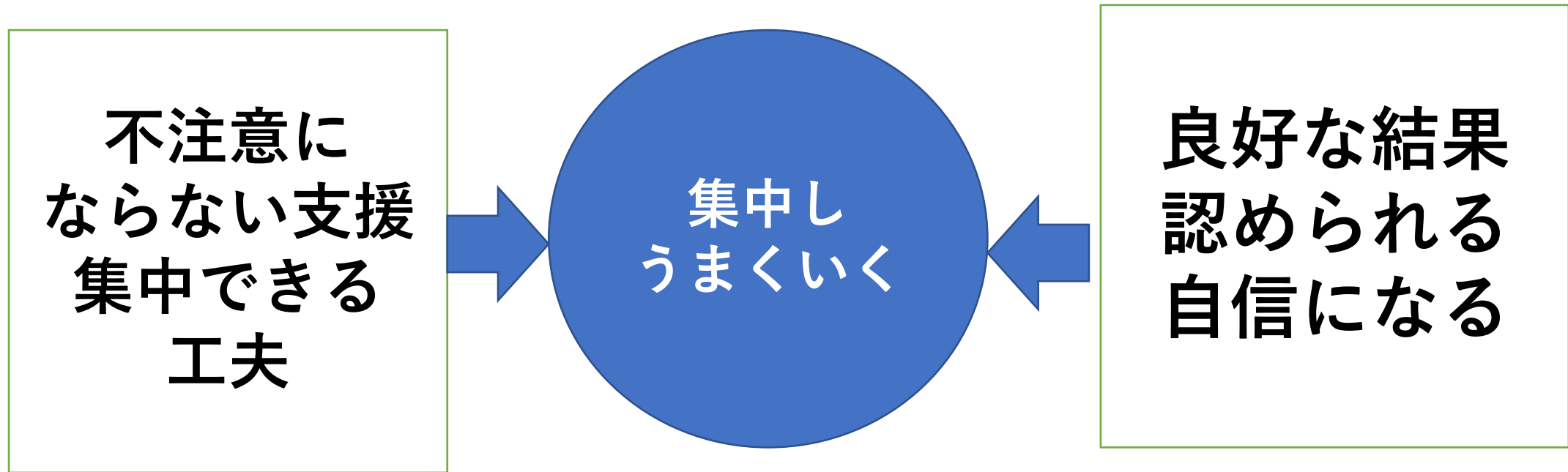
- **自己主張**

気持ちを理解し、望ましい態度・かかわり方を学ぶ

不注意場面の記録と分析（例・大学生）

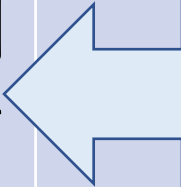
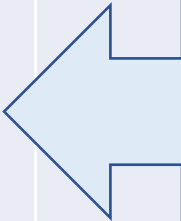
状況・課題・条件	不注意による失敗	対応・反応・結果
授業中 試験にかかわる説明 隣の学生に話しかける	大事な情報を聞き逃す	試験の点数がとれない 隣の学生から苦情を言われる
バイトに行く途中 新しくできたバックの ショップが目に入る ゼミ旅行のバックを 探す	バイトに大きく遅刻する	クビになる ゼミ旅行の旅費が不足する

分析から支援を考える（気づく）



不注意による失敗を待つのではなく、失敗しない
(させない) 工夫 (集中できて) うまくいく 成功体験

失敗を防ぐ 事前の対応



状況・課題・条件	不注意による失敗	対応・反応・結果
授業中 試験にかかわる説明 隣の学生に話しかける		<p>「集中」の付箋をはる 振動付き腕時計の使用 友達の協力</p>
バイトに行く途中 新しくできたバックの ショップが目に入る ゼミ旅行のバックを探す		<p>バイト先までの道のりと目印を チェックしながら歩く 親の協力 (注意・電話・ラインなど)</p>

不注意場面の記録と分析（高校生 生徒A）

状況・課題・条件	不注意による失敗	対応・反応・結果
定期試験の日 締め切りの課題が見当たらない 部屋が乱雑	電車に乗り遅れる 提出物も出せない	試験に遅刻する 成績が悪くなる
黒板横の掲示物がひらひらしているのが気になり、全体指導が理解できないまま提出物についての説明が終わってしまった。	提出物についての大事なポイントを聞き逃す	提出物に取り掛かることができない。 もちろん提出できない。

<演習 2>

失敗を防ぐ 事前の対応(考えてみましょう！)

状況・課題・条件	不注意による失敗	対応・反応・結果
定期試験の日 締め切りの課題が見 当たらない 部屋が乱雑		
黒板横の掲示物がひら ひらしているのが気に なり、全体指導が理解 できないまま提出物に ついての説明が終わっ てしまった。		

まとめ

- ・ 観察を通して、不注意の過程と結果を知る
- ・ 不注意にならない対応をすることで、事態がよくなることに気づく
- ・ 変えられることや受け入れられる支援を自分で決める（個別の指導計画の作成）
- ・ ふりかえりをし、少しでも実行できたことを理解する

行動観察、自己理解と自己解決による不注意への対応

ASDとは

1. 社会的コミュニケーション、相互作用の障害

- 社会的感情の相互関係の欠如
- 非言語コミュニケーションの問題
- 年齢相応の社会関係の困難さ

2. 行動の特異性(同一性保持、こだわり)

- 儀式的行動
- 情動的な反復行動
- 感覚の特異性
- 興味関心の特異性、狭さ

知的能力が高いASDの特徴

- 場の空気が読めない（嫌がっているのに気づかない）
- 暗黙のルールがわからない（順番に話す、など）
- 思ったことをすぐ口にする（「どうしてハゲてるの？」）
- 話が一方的である（自分の興味のある話だけ）
- 昆虫の名前、国旗など抜群に記憶力がいい
- ひとりで遊んでいることが多い（一人遊び、マニアックな遊び？）
- 変化を嫌う（ものや行為へのこだわりがある）
- 急に予定が変更になるとパニックを起こす

能力の著しい偏りから、対人関係、情緒の問題を引き起こす

A S Dのウリは

- ・ **正義感が強い、まじめ**

主張の正当性を評価し、対応の仕方を教える

- ・ **論理的思考、理数系に強さを発揮**

特性に合った進路、活動を勧める

- ・ **記憶力が抜群**

学習や趣味に生かす。みんなの前で評価する。

- ・ **パソコンなど、機器関係に強さを発揮**

問題行動や困難さへの対応を考える前に、
発達障害のプラスの面を評価すること

ASDに求められること

- **自己理解**

他者理解の困難さ、自己管理の弱さ、自分のウリ

- **自己管理**

課題の優先順位など、スケジュール管理、支援ツール

- **自己解決**

解決の「形」を知り、形に従い問題を乗り越える

- **自己主張**

SSTやカウンセリングで、人とのつきあい方を学ぶ

対応（1）具体的に分かりやすく

・具体的な約束

×遅れないように ○8：30までに教室にはいりましょう

・わかりやすい表現

×最後までがんばって ○5往復ふきましよう

・約束するときは約束の意味と具体例を示す

「親切とは相手のしてほしいことをすること」例えば物を貸したり「大丈夫？」と言ったりすることなどと具体例をつけて教える。

対応(2)自己選択支援

校則違反に気づいた

注意する

逆ギレされる

教師に報告

自分は安全

どちらが自分にとって利益になるか考えてもらう

対応(3) ソーシャルスキルトレーニング

- ・ 会話の基本的なパターンを練習する

会話の始め方終わり方、うなずき、「ところで…」

- ・ 非言語行動を教える

視線、姿勢、体の向き、離、しぐさ等

- ・ 「空気」の読み方を教える

表情の理解、言葉のチョイス、一方的でない内容等

内面でなく、行動様式を具体的に教える

不幸な経験をしないために

- 感情理解の乏しさ

視覚支援を用いるなど、相手の感情が理解できるように支援

- 融通のきかなさ

良し悪しや常識で説得ではなく、選択肢と結果を示す

- 不適切な自己評価

達成可能な具体的目標と、「できた」ことへの確かな評価

- 対人スキルの乏しさ

計画的なSSTと日常生活への般化を

< 演習 1 >

問題が起こる前にどんな支援をしますか

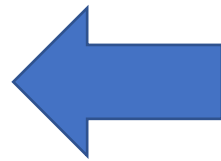
ADHDとASDの生徒について
どんな支援ができるか考えてみましょう。

(生徒の例) ASD

急な予定の変更や環境の変化(天候、場所等)が苦手。
うまくいかないかもしれない学習や作業への不安感も強い。

(こんなことが起こってしまうかも)

不安感から大声を出す。
パニックになっている生徒を別室に連れて行ってクールダウンさせることが必要になる。



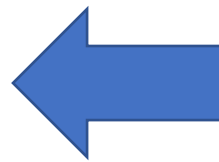
(起こる前にこんな支援をしたい)

不安になったら相談して休むことができるよう練習する。
落ち着いている時に相談の仕方(話型)を教え、実際に使えたら称賛する。

(生徒A) ADHD

学力に問題はないが、全体指導が通らない。
逃避傾向があり、課題を出すことができない。

(こんなことが起こってしまうかも)



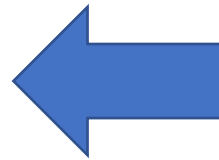
(起こる前にこんな支援をしたい)

(生徒B) ASD

自己開示ができず、他者とのコミュニケーションがとれない。
学力は低いが、趣味の鉄道については日本中の路線図を暗記しているほど詳しい。

(こんなことが起こってしまうかも)

(起こる前にこんな支援をしたい)



3 .ユニバーサルデザインについて

ユニバーサルデザインとは

- 年齢や障害の有無などにかかわらず最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすること

<学校現場においては…>

特別な支援が必要な生徒には
“ないと困る”支援

どの生徒にも
“あると便利”な支援

授業のユニバーサルデザイン化（例）

- 1 先の見通しを持たせる。（年間計画、本時の流れ等）
- 2 要点を絞って、短い文で話す。
- 3 指示するときは、1回にひとつだけにする。
- 4 指示内容は、具体的に。（朝⇒8時）
- 5 肯定的な表現を使う。（立たない⇒座る）
- 6 平易な言葉を用いる。 ふりがなをふる。
- 7 絵や写真、図、板書、メモなど視覚支援を活用する。
- 8 板書は半分ずつ消す。穴埋め等で、記入量を少なく。
- 9 プリントに科目名と番号を載せる。
- 10 文字は大きく。 ゴシック体がよい。

< 演習 1 >

学びのUD化チェックリスト（資料①）を

やってみましょう！

これから力を
入れていき
きたいと思
う番号に
○を

比較的
できている
所に✓を

学びのUD化チェックリスト		チェック数
障 害 児 学 生 に 対 し	No. 1 教材や内容を必ず書写のかけ	Point
	1 教材やできていることを認め、ほめ、ほげます書写のかけをしている	
	2 読みしりや動を子供自身に意識させられるような書写のかけをしている	
	3 行書の発音や理由を子供に問い、自ら自身で考えたり、説明した上で教材や書写のかけをしている	
	No. 4 教材の伝え方	Point
	4 授業で分かりやすく、ゆったり、ほつきり強い書写で指示したり指示したりしている（「1つめはーです」「2つめはーです」等）	
	5 一つの指示に対して一つの行動ができるように指示している（聞くとき、書くときを明確にする）	
	6 簡単な書写を促す、具体的な書写で指示するようにしている	
	7 複数の指示をするときは、視覚的にも分かるように指示している	
	8 罰金、命令、禁止の書写ではなく、肯定的で次の行動につながる書写のかけをしている（「しなさい」「しなさい」より「よしよし」等）	
	No. 9 ルール作り	Point
	9 読書や他のさまり、学校生活や授業において守るべきルール等を明確に示している	
	10 授業時間外の方法を決めて指導している	
No. 11 声かけ	Point	
11 授業の前書きが必要なものをみしりしている		
12 1日や1週間の予定を見やすく提示している		
13 急な予定変更は早めに、視覚的にも分かるように示している		
No. 14 授業の個人学習のくり	Point	
14 一人一人が活躍したり、認められたりする場をつくっている		
15 一人一人の個性や進歩を認め、分からぬことや得意なことを積極的に見ない、差別感を行ないようにしている		
16 教師自身が、特別な支援が必要な子供に対するかがり方のモデルを示している		
No. 17 授業の流れ	Point	
17 チャームと共に始まり、チャームと共に終わる授業を心がけている		
18 開始や休憩の初めに目標や学習の流れを示し、見通しを持って取り組めるようにしている		
19 授業の流れが分かるよう、授業の機軸の工夫をしている		
20 導入では、興味・関心・関心を高め、「学んでみたい」と思えるような工夫をしている		
21 授業では子供の興味に応じて自分解決ができるような学立てや教材・教具の準備をし、分かりやすく提示している		
22 家とめでは「わかった」「できた」という喜びや達成感を体験できるように工夫をしている		
No. 23 授業の準備	Point	
23 わらいに応じて様々な学習形態の工夫をしている		
24 集中力が高まった授業構成や学習活動を工夫している		
25 学び合いの主体的にできるように、その方法や役割分担等を明確に示している		
No. 26 教材の指導	Point	
26 全体指示では分かりにくい子供には、個別に指示している		
27 学習に使う準備物を忘れがちな子供への配慮をしている（授業の指示や指導）		
28 書くことが苦な子供への配慮をしている（授業の進め、授業の時間を決める等）		
29 机間巡行で、授業内容を確認したり、個別に応じた指導や書写のかけをしたりしている		
No. 30 授業の工夫	Point	
30 授業の流れが分かるよう、授業の機軸の工夫をしている		
31 チョークの色や字の大きさなど、子供の「見やすさ」という視点に立って授業している		
32 大切な点やポイントが分かるような授業をしている（ライン、枠組み、矢印、記号等）		
No. 33 教材・教具等の工夫	Point	
33 ノートの取り方やファイル・プリントの整理の仕方等を指導している（モデルの提示等）		
34 提示する内容をより分かりやすくするための教材・教具の準備や工夫をしている（具材物、写真、絵、動画、ICT活用など）		
35 子供の発達段階や学力に合わせて教材・教具の準備や工夫をして、子供が活用できるようにしている（プリントの種類【基礎・応用】や大きさ、読みやすさ・書きやすさへの配慮、図表の量、道具・用具等）		
No. 36 教材の配慮	Point	
36 子供の興味に合わせて教材の位置にしている		

日常生活や学習上の支援の例

- 1 毎朝の準備、段取りが苦手 → リスト、スケジュール表の活用
- 2 指示を聞き洩らす → 要点を渡す。メモの取り方を教える。
- 3 周囲の状況に合わせた言動困難 → 場面に応じたかかわり方を教える。
- 4 報告・連絡・相談が苦手 → 時間や方法を決めておく。
- 5 優先順位をうまくつけられない → 基準を一緒に考える。
- 6 休み時間の過ごし方が分からない → 自分なりの過ごし方を決める。
- 7 予定の変更があると混乱する。 → 変更の可能性を予告しておく。
- 8 人の名前や顔が覚えられない。 → 写真付きの名簿を活用する。
- 9 音やにおい、光に敏感 → 耳栓やマスク、サングラス等を活用する。
- 10 学習や作業のペース配分ができない。 → 節目を設け、目安をつける。

おわりに

津南中等教育学校基本方針
夢の実現

川西高等特別支援学校教育目標
夢をえがき一步一步前進する生徒

生徒の夢を実現するためには、適切な支援を行うことと同時に、生徒が肯定的で正しい自己理解をするための手助けをしていくことが必要だと日々感じています。
タイプはあっても、生徒は一人一人違います。
ぜひ、**一人一人の生徒のアセスメント**を行い、**対応方法を共通理解**して進めてください！

参考資料

- ・ 進路指導キャリア教育の手引き「未来に向かって」
川西高等特別支援学校 進路指導部
- ・ 『障がい者の就活ガイド』 紺野 大輝 著
- ・ 「高等学校における特別支援教育の推進～多様化する生徒の積極的支援のために～」
川西高等特別支援学校 校長 小堺さとみ
- ・ 「特別な支援を必要とする学生への対応 Ver.2018」 新潟大学 長澤研究室
- ・ 「悩みがある・障がいがある学生の サポートブック」
長岡科学技術大学 学生総合支援センター
- ・ 富山大学学生支援センターウェブサイト
アクセシビリティコミュニケーション支援室 トータルコミュニケーション支援部門
- ・ 学びのユニバーサルデザイン化チェックリスト リーフレット
熊本県立教育センター
- ・ 「ユニバーサルデザイン(UD)の視点を取り入れた授業実践」 島根県立邇摩高等学校

紹介したい本

<発達障害の当事者が描いているコミック>

『めざせポジティブADHD』 著者 あーさ
監修 久留米大学小児科准教授
山下裕史朗
九州看護福祉大学助教
水間宗幸

『なおりはしないが ましになる1』 著者 カレー沢 薫

『ぴーちゃんは人間じゃない？ADHDでうつのわたし、働きづら
いけどなんとかやっています』 著者 ぴーちゃん